

災害を知る

水害を知る

雨の降り方と強さ

関東・東北豪雨では、鬼怒川流域に次々と発生した積乱雲が、線状となって長時間猛烈な雨を降らせました。このような雨の降り方は「線状降水帯」と呼ばれ、集中豪雨をもたらします。雨の降り具合や今後の気象情報などを確認し、災害に備えて早めの準備をしましょう。また、河川やがけなど災害の危険性のある場所には近づかないようにしましょう。

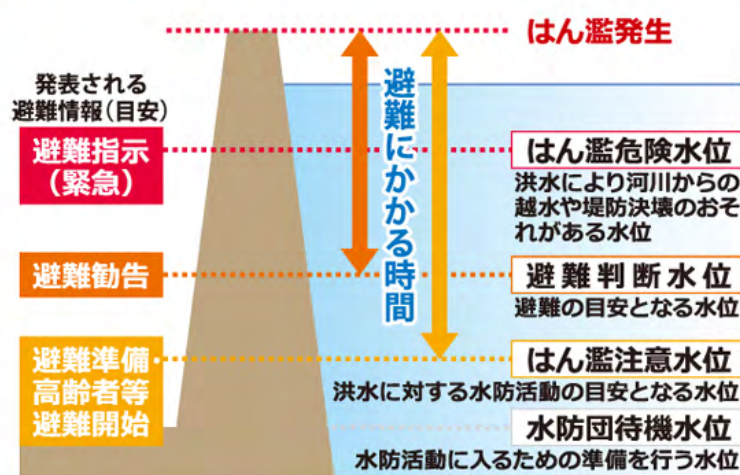


河川水位と避難情報の発表

大雨により鬼怒川・小貝川の水位が上昇し、はん濫の危険性が高くなると、河川管理者（国・県）などから防災に関する情報が発表されます。

河川名 水位観測所	鬼怒川			小貝川		
	川島	鬼怒川水海道	三谷	黒子	上郷	小貝川水海道
はん濫発生	-	-	-	-	-	-
はん濫危険水位	2.80m	5.50m	3.20m	5.80m	5.20m	6.50m
避難判断水位	1.80m	4.80m	2.90m	5.10m	4.80m	6.10m
はん濫注意水位	1.10m	3.50m	1.80m	3.80m	3.60m	4.60m
水防団待機水位	0.00m	1.50m	1.40m	2.50m	3.00m	3.80m

国土交通省「川の防災情報」より



外水はん濫と内水はん濫



増水した河川の水位が堤防の高さを越えたり、堤防が河川の流れによりけずられて決壊し水が流れ込むことです。



河川から水があふれるのではなく、降った雨を河川へ排水しきれなくなり下水道や側溝などから水があふれることです。

土砂災害を知る

がけ崩れの特徴

土砂災害は台風や豪雨、地震によって突発的に発生します。

市内で起こりうる土砂災害には「がけ崩れ」があげられます。

- がけ崩れは大雨や集中豪雨などにより、**地盤が突然崩れ落ちる現象**です。また、強い地震の揺れにより発生する場合があります。
- 崩れた土砂は、斜面の高さの2~3倍も離れた距離まで届くことがあります。
- 突然発生し崩れるスピードが速いので、**危険を感じたらすばやく避難**をすることが大切です。

前兆現象

- 斜面から水が吹き出す
- 湧き水が増えた
- 地面にひび割れができる
- 地鳴りがする
- 斜面に割れ目ができる
- 斜面から小石がパラパラ落ちてくる



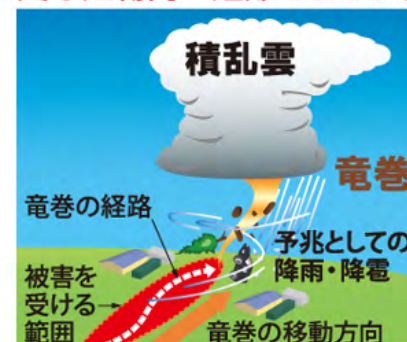
土砂災害(特別)警戒区域

茨城県では、土砂災害防止法に基づき、土砂災害の被害を受けるおそれがある区域を「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に指定しています。下妻市には5箇所の指定区域があります。



竜巻を知る

竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生し、**短時間で帯状の狭い範囲に甚大な被害**をもたらします。強い竜巻に襲われると、強い風によって建物の倒壊や車の横転が起こることもあります。**すぐに頑丈な建物内へ避難しましょう!**



竜巻の特徴

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する**激しい渦巻き**です。
- ろうと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で**狭い範囲に集中して甚大な被害**をもたらします。被害は、長さ数km、幅数十~数百mの狭い範囲に集中します。
- **移動スピードが非常に速い**場合があります。過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。
- **いろいろなものが猛スピードで飛んでくる**場合もあります。